

(公印省略)
令和2年9月14日

保護者様

草津町立草津中学校
校長 山野 悟

新型コロナウイルス感染症対策の徹底について(お願い)

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に対してご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、昨日、群馬県Webページ等に掲載されましたとおり、本町の飲食店において、新型コロナウイルス感染者が確認されました。

なお、現時点での本校の生徒、保護者の感染者は、確認されておられません。

本校におきましては、『生徒の健康・安全を第一』に、引き続き新型コロナウイルス感染症の対策に万全を期すとともに、感染症のリスクを低減させながら学習活動、学校行事、部活動等の生徒の意欲的な教育活動を進めてまいります。ご家庭におかれましても、引き続き感染症対策等へのご理解・ご協力をお願いいたします。

保護者の皆様におかれましては、感染症につきまして、ご質問、ご心配な点等がございましたら、問い合わせいただきますようお願い申し上げます。

※裏面参照

- ・文部科学省大臣メッセージ

草津中学校 担当：石塚博文
TEL 88-2227

保護者や地域の皆様へ

学校において、児童生徒等の学びを確保するための取組を進めることができているのは、保護者や地域の皆様に感染症対策の取組に御理解と御協力を賜っているからであり、心より感謝申し上げます。

しかし、このような取組を徹底しても学校や家庭、社会において感染するリスクをゼロにすることはできません。誰もが感染する可能性があります。その上、新型コロナウイルス感染症には未だ解明されていない点があり、ワクチンも開発中であることから、この感染症に対する不安をお持ちの方が多くと思います。

私たちは、この感染症と、この感染症がもたらした社会の変化に対して、現時点での科学的な知見や見解に基づいて、正しく向き合うことが必要です。私からは、保護者や地域の皆様に次の二点をお願いいたします。

第一に、感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等を許さないということです。

誰もが感染する可能性があるのですから、感染した児童生徒等や教職員、学校の対応を責めるのではなく、衛生管理を徹底し、更なる感染を防ぐことが大切です。

そして、自分が差別等を行わないだけでなく、「感染した個人や学校を特定して非難する」「感染者と同じ職場の人や、医療従事者などの家族が感染しているのではないかと疑い悪口を言う」など身の周りに差別等につながる発言や行動があったときには、それに同調せずに、「そんなことはやめよう」と声をあげていただきたい。人々の優しさはウイルスとの闘いの強い武器になります。

感染を責める雰囲気広がると、医療機関での受診が遅れたり、感染を隠したりすることにもつながりかねず、結局は地域での感染の拡大にもつながり得ます。その点からも差別等を防ぐことは必要なことです。

第二に、学校における感染症対策と教育活動の両立に対する御理解と御協力です。

感染症への対応が長期にわたることが想定される中、学校では、感染症対策を講じつつ学校教育ならではの学びを大事にしながら教育活動を進め、子供たちの健やかな学びを最大限保障するための取組を進めていただいているところです。また、大学についても、感染症対策の徹底と、対面による授業の検討も含めた学修機会の確保の両立をお願いしております。

これからの予測困難な時代を生きていく児童生徒等や学生が、必要となる力を身に付けていくことができるよう、学校の教育活動の継続への御理解と御協力をお願いいたします。

新型コロナウイルスのみならず、感染症へ正しく対応するためには、最新の科学的な知見等を知ることが不可欠です。政府として、分かりやすい広報に努めているところですが、保護者や地域の皆様におかれても科学的な知見等を日々の生活に生かしていただきたいと思っております。

令和二年八月
文部科学大臣 萩生田 光一